

歯の衛生週間

「歯の衛生週間」は、厚生労働省・文部科学省・日本歯科医師会が昭和33年から実施している週間です。国民に対する歯科衛生思想の普及運動として、日本歯科医師会が昭和3年6月4日「6(む)4(し)」にちなんで「虫歯予防デー」の名称で行われたのが始まり(昭和13年まで)でした。以後、昭和14年から昭和16年まで「護歯日」、昭和17年に「健民ムシ歯予防運動」としていましたが、昭和18年から昭和22年までは太平洋戦争のため一時中断されていました。しかし、昭和24年にこれを復活させる形で「口腔衛生週間」が制定されてから、昭和27年に「口腔衛生強調運動」、昭和31年に再度「口腔衛生週間」に名称を変更し、昭和33年から現在の「歯の衛生週間」になりました。

《 歯の衛生週間実施要領 》

日本歯科医師会より、6月4～10日を期間とする平成24年度「歯の衛生週間」実施要領が発表されました。「歯の衛生週間」は、今では広く国民の間に定着しており、全国各地で歯に関する独自のイベントが展開されていきます。ぜひ皆さまも、地域のイベントにふるってご参加ください。

《 目的 》

この週間は、歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

《 標語 》

「歯みがきは じょうぶなからだの 第一歩」

《 本年度の重点目標 》

「生きる力を支える歯科口腔保健の推進
～生涯を通じた8020運動の新たな展開～」

歯および口腔の健康は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

(平成24年度歯の衛生週間実施要領より)



(後援: 日本歯磨工業会 平成24年度「歯の衛生週間」ポスター)



「歯の衛生週間 標語」の巻

日本歯科医師会は毎年、日本歯磨工業会と共同で標語・ポスターを作成しています。6月は歯の衛生月間！本年度の重点目標に向かって、健康・健口づくりを心掛けていきましょう。

★歯の衛生週間 標語集★ (抜粋)

- 昭和 5年度 「六歳臼歯を大切に」
- 昭和 8年度 「歯は健康の第一線」
- 昭和 9年度 「御国を守れ 歯を護れ」
- 昭和14年度 「歯牙の愛護に輝く体位」
- 昭和15年度 「強い歯は母でつくって子で護れ」
- 平成 9年度 「80年 心も元気 歯も元気」
- 平成17年度 「じょうぶな歯 いつもごはんがおいしいね」
- 平成20年度 「ありがとう いつもはたらく歯に感謝」

昭和初期から平成へと、その時代を反映しているところが興味深いですね。

歯の雑学クイズ

- (1) むし歯にかかっている人が最も少ない国はどこでしょう？
A. 日本 B. フィンランド C. ガーナ
- (2) 歯垢1グラム中にある細菌の数はいくつでしょう？
A. 約千個 B. 約1千万個 C. 約1千億個
- (3) むし歯予防になるといわれているキシリトールは、何から採れるのでしょうか？
A. オレンジの皮 B. 白樺の皮
C. バラのとげ

(インターネット他、引用)

※ 回答は4面